

ホクト工業

最適な溶接で ”作る”と”直す”を支える

納期相談
コスト相談



顕微鏡下でのレーザー溶接機の作業風景

主な事業内容 金型溶接補修(主にプラスチック金型)、 人物サイズまでの溶接・製缶	主な取引先(納入先) 金型製作、機械加工、 自動化設備製作関連会社	主な製品 プラスチックの微細溶接補修、 自動化設備部品の溶接加工
---	--	---

業務内容
”大と小””荒と微細”
幅広い対応力

ホクト工業は、金型の精密な修復・補修を強みとする。溶接加工の町工場として創業し、細やかな仕上がりを取引先に見込まれて金型溶接補修を受けるようになった。溶接・製缶部品の製造は手のひらサイズから人物サイズまで、金型補修は主にプラスチック製品品の射出成形用金型を対象に荒目から微細まで対応する。金型は高価なため、企業にとって無駄にはできない大切なツール。ましてや素材高の昨今、金型のメーカーやユーザーにとって金型補修業者は必須のパートナーだ。今では依頼の約半数を金型補修が占める。コア技術の溶接を”作る”と”直す”の両方に役立て、ものづくりを支えている。

強み 多様な設備から最適の溶接機を選定


加工物の大きさや素材などによって異なる最適な溶接を選定できる技術と設備が強み。データやノウハウを駆使して入熱による変形や色づきを抑える高品位な溶接は、顧客から高く評価されている。溶接・製缶部品の製造では、半自動

溶接機とTIG溶接機を主に使用。一方、金型肉盛補修では、入熱を抑えて溶接できる精密微細TIG溶接機と、さらに入熱が少なく、溶接困難な奥深い箇所や、より細かな溶接ができるレーザー溶接機を用いて、顕微鏡下で溶接補修する。顕微鏡下での溶接技術は極小の部品製造でも活躍し、多様なニーズへの対応にも一役買っている。

人材育成 人を磨いて技術を磨く

溶かしすぎれば歪みが生じ、溶けが少なすぎても不良となる溶接の世界で、加工速度や入熱量といった複数要素を最適化するには、設備だけでなく人の技量が欠かせない。そこで、日々忙しい中で注力するのが技術者の育成だ。同社の技術者は、半自動溶接やTIG溶接、軟鋼やステンレスなど溶接や素材の種類ごとに技能資格や溶接技術資格といった複数の資格を取得し、技術を磨き続けている。創業以来蓄積してきたデータとノウハウを継承しつつ、次世代の技術者がさらに上積みすることで、溶接の品質とコスト、納期などで顧客の要望に寄り添った提案を可能にしている。

社長あいさつ



代表 渡部 浩和さん

お客様の声を聞き、一緒に歩んでいく企業をめざしています。何にでも挑戦していく心構えで、お客様に育てていただきながらコツコツ前へ進んできました。今後もできる限りご希望に添い、信頼していただける形ある”モノ”を提供し、長く信頼関係を築いていきたいと考えています。

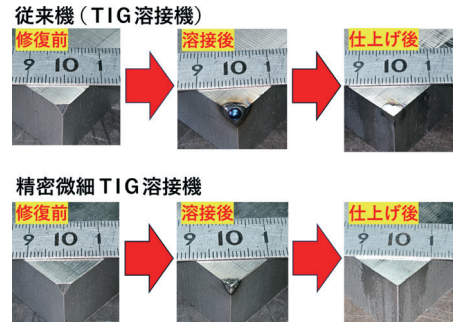
- 主な保有設備**
- レーザ溶接機 AL200 Alpha Laser製 1台
 - 精密TIG溶接機 WELD PRO SW-V02ほか 三和商工製 2台
 - TIG溶接機 YC-300BP4ほか パナソニック製ほか 2台
 - 半自動溶接機 YD-400NE1ほか パナソニックコネクト製 2台

大阪 05

住所 / 〒566-0052 摂津市 鳥飼本町3-7-2
TEL / 072-654-6608
FAX / 072-646-7780
創業 / 平成6年6月
設立 / -
資本金 / -
従業員 / 3名



レーザー溶接でのネズミ型の創作物



従来TIG溶接と精密微細TIG溶接との比較



<https://sites.google.com/view/hokutokogyo1994>